

西中生徒会ニュース

茨木市立西中学校 第8号 2020年12月25日（金）

<生徒会本部より>

今日で今年度の二学期は終了します。そして、明日からは冬休みが始まります。今年度は新型コロナウイルスの影 響 で冬休みは10日という例年よりも短い日数で自由な時間はごくわずかになるかもしれません。しかし、12月の生活目標である「時間を守ろう」にもあるように、時間管理をきっちりとすれば、きっと楽しい冬休みになるはずです。

私たち第71期生徒会本部役員6名は、2年合同班長会から推薦を受け、決意表明演説会で承認されました。第70期生徒会本部役員の先輩方からバトンを引き継ぎ数か月たちますが、改めてその忙しさを実感し、どのような状況で先輩方が生徒会を運営されていたのか少し分かりました。先輩方の大きな背中に追いつけるように頑張りたいと思います。

そのためには、先輩方が行ってきた努力の結 晶 ともいえる色々な取り組みを正しく理解して、みなさんに届けることが大切だと思います。それだけではなく、新たな取り組みも実施していきたいと思います。それはみなさんに答えてもらった生徒会アンケートの内容も含まれます。



西中では、「班=家」をスローガンにして、仲間の大切さを実感している人も多いと思います。しかし、自分が困っている時に自分一人で気負いすぎていませんか？自分が困っているときに仲間に頼れて助けてもらうことができ、仲間が困っているときには自分が仲間の頼れる人になり、助け合うことで、本当の意味での仲間の大切さを実感することにつながると 생각합니다。そして、ありのままの自分を受け入れてもらい、

自分も仲間を受け入れる。そういう関係になるためには、ダメなことはダメと仲間のことを想って伝え合うことや仲間のいいところは積極的に言い合えることが大切です。残り3ヶ月、正面から気持ちを伝えることで、仲間との絆をつくり深めましょう。

<2学期の振り返り>



1年

72期生では、ハットちゃんとうさぎの木を取り組みを振り返り、ハットちゃんでは、期間中はみんな真面目に授業を受けられていました。うるさくなると注意してくれる人も増えました。しかし、取り組みが終わると、まったく授業に集中せず、友だちと話している人が目立っています。また、うさぎの木では、ふだん素直になれず、強がっている人が素直になってくれました。ですが、書くことが思い浮かばず、関わりが少なかったと感じられる発言もありました。

この2つの取り組みを通じて、班の仲が良くなったり、授業態度が少しでも改善されたのかなと思います。



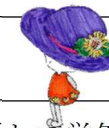
2年

2年生は体育大会、合唱コンクール、学年レクなどを通して、みんなの仲を深めてきました。そして、生活委員などが進んで新しいことに取り組み、みんなしっかり意欲を持って取り組むことができました。しかし、その一方で、全員の仲が良すぎるあまり休み時間と授業とのメリハリをつけることができず、授業がうるさくなることが多数見られました。なので、学級委員や班長が声掛けをするのはもちろんですが、一人ひとりが自分で意識をして全員が気持ちよく学校生活を送ることができるように努力していきたいです。



3年

2学期は、二大行事を通して学年全体がまとまり、行事から日常につなげることができたと思います。中学校生活最後の文化発表会・体育大会の二大行事ではコロナウイルスの影響で例年とは違う中での取り組みでしたが、パートリーダーとブロックリーダーが中心となってみんなを引っ張ってくれたので成功できたと思います。体育大会の団体競技では、クラスによってはぶつかることもありましたが、そのかいもあってか、クラスの団結力が強まったと思います。しかし、その反面、行事から日常につなげることは難しく、授業中うるさくなってしまい、休憩時間と授業とのメリハリがつかなくなり、J4を守れていない人が多くなりました。課題点が明らかとなっているので、班長と学級委員が主体となり、クラスに声かけを継続していきたいと思います。



今年度も残り3ヶ月…。学級目標を達成し、3学期のクラスミーティングでは自分の話を周りの仲間が受け止めてくれていてお互い感じられるクラスにしていきたい。

